

LINE Digital Frontier、日本発オリジナルコンテンツに3年間で100億円投資

LINE Digital Frontier 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：森啓、以下 LINE Digital Frontier）は、日本発オリジナルコンテンツの開発・投資拡大のため、今後3年間で総額100億円規模の資金投入を実施することを決定しました。



LINE Digital Frontier は、日本発オリジナルコンテンツの開発・投資拡大のため、自社での制作の強化をはじめ、パートナー企業との協業や個人クリエイターの支援などを対象に、今後3年間で総額100億円規模の資金投入を実施することを決定しました。制作スタジオへの投資、出版社や外部スタジオとの共同制作、多様なパートナーとのマンガ賞の実施など、日本発オリジナルコンテンツの制作と個人クリエイターの発掘強化および活躍推進に向けた施策へ積極的に投資します。

世界最大のマンガ市場であり、多才なクリエイターが数多く活躍する日本において、国内マンガアプリ累計ダウンロード数 No.1（※）の「LINE マンガ」および、国内最大級の電子書籍サービス「ebookjapan」を運営する LINE Digital Frontier は、150 カ国以上、10 言語で展開し、グローバル全体で月間利用者数 1 億 5,500 万人を超える WEBTOON Entertainment グループのなかでも最重要拠点です。

本投資を通じ LINE Digital Frontier は、マンガ市場のさらなる発展に寄与するコンテンツの開発を強力に推し進めるとともに、世界各国にプラットフォームを展開する WEBTOON Entertainment グループのパイプラインを生かし、日本発の優れたコンテンツを世界へと発信します。

WEBTOON Entertainment グループは、コンテンツをグローバルに展開する取り組みとして、今年9月より新作や人気連載作を世界へ同時に届けるプロジェクト「Global Drop」を開始しました。「Global Drop」プロジェクトでの日本発作品の世界同時配信も決定しており、株式会社ナンバーナインが手掛ける『暗殺勇者の天星航路』を皮切りに、さまざまなパートナー企業との作品も順次世界同時配信を行う予定です。

また、WEBTOON Entertainment の創作プラットフォーム「WEBTOON CANVAS」の日本への導入を2027年中に予定しています。「WEBTOON CANVAS」は、個人クリエイター向けのオープンプラットフォームで、現在は英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、インドネシア語、タイ語、中国語（繁体字）の7言語が利用可能です。希望するクリエイターは複数言語で作品が公開できるため、言語や地域をまたいで読者との接点を広げることができ、規定の条件を満たしたクリエイターには広告収入などの収益還元も行われています。

このように、WEBTOON Entertainment が保有する IP グローバルパイプラインと本投資により、LINE Digital Frontier は、素晴らしいパートナーやクリエイターの皆様とともに、世界中の読者へ日本のオリジナルコンテンツを届けます。日本発の優れたコンテンツを世界へ送り出すため、ともに新たな価値を創造するパートナー企業やクリエイターの皆様の広く歓迎いたします。

※）国内マンガアプリ（App IQ：Books & Comics）累計ダウンロード数（2014年1月～2026年7月）/ iOS & Google Play 合計 / 出典：Sensor Tower

■森啓（もり・ひろし） 代表取締役社長コメント

日本のマンガには、国や言語を越えて人の心を動かす力があります。今後 3 年間、総額 100 億円規模の資金投入を通じて、日本のオリジナルコンテンツの開発・投資拡大を強化してまいります。さらに、WEBTOON Entertainment グループのグローバルなネットワークを生かし、日本発の作品を世界中の読者へ届けてまいります。

■金鎔秀（キム・ヨンス） 代表取締役コメント

LINE Digital Frontier の共同代表であり、WEBTOON Entertainment の President として責任感を持ち、世界最高水準の日本コンテンツがグローバルに進出できるよう最善を尽くします。

■LINE Digital Frontier について

LINE Digital Frontier

LINE Digital Frontier 株式会社は、スマートフォンやタブレットで気軽にマンガ作品が楽しめる電子コミックサービス「LINE マンガ」、国内最大級の電子書籍販売サービス「ebookjapan」と、紙書籍オンライン販売サービス「bookfan」を運営しています。「マンガの未来を創る」べく、ユーザー、クリエイター、そしてパートナー企業に対して最高の価値を提供し続けてまいります。